

報道発表資料

2019年6月4日

テクトロニクス、オシロスコープ新製品、3シリーズ MDO、4シリーズ MSO を発表

最新のインダストリアル・デザインとクラス最大のディスプレイを搭載し、すべてのエンジニアに革新のユーザ・エクスペリエンスと幅広い選択肢を提供

テクトロニクス(所在地: 東京都港区、代表取締役: Kent Chon)は、本日、オシロスコープの製品ラインアップに、新製品 3 シリーズ MDO、4 シリーズ MSO を追加することを発表します。このマーケットでは最も強力で、高い汎用性と操作性を備えたオシロスコープになります。

新製品 3 シリーズ MDO、4 シリーズ MSO では、5 シリーズ、6 シリーズ MSO で初めて採用され、多数の受賞歴のあるユーザ・エクスペリエンスをベースに、直感的なタッチスクリーン・ユーザ・インターフェース、クラス最大の高解像度ディスプレイ、最新のインダストリアル・デザインを採用しています。今回の新製品発表は、様々なアプリケーション要求に対する新たな選択肢になります。世界最高クラスのテクトロニクス製品ラインアップはエンジニアのために、優れた測定/解析機能と、必要な性能に応じた幅広い選択肢を提供します。

テクトロニクス、タイム・ドメイン事業部、副社長兼事業本部長のクリス・ウィット(Chris Witt)は、次のように述べています。「テクトロニクスは、エンジニアによるエンジニアのための会社であり、新製品開発においてもその理念を貫いています。私たちのチームは、世界中のエンジニアと、数百時間にも及ぶミーティング、新しい機能の試作、設計を行いました。その結果として、今回、すべてのエンジニアのアイデアを元にした最高のオシロスコープを発表できることをうれしく思います」

クリス・ウィットは、さらに次のようにも述べています。「新製品は、操作性と汎用性を最優先に設計されました。エンジニアはオシロスコープの操作方法の習得に時間を費やすことなく、技術の革新や、困難な問題の解決に時間をかけることができます」 タッチスクリーンと前面パネルを持つ 3 シリーズ、4 シリーズのインターフェース設計はキーのコントロールを使いやすい位置に配置しており、ディスプレイ上でダブルタップするだけでリードアウトまたは測定項目を操作することができます。深い階層のメニューを辿って設定項目を見つける必要はありません。

4 シリーズ MSO: 大型ディスプレイ、最大 6 つの Flex Channel®入力を搭載

新製品の 4 シリーズ MSO は、このクラスで最大の 13.3 型、高解像度(1920×1080) HD ディスプレイを搭載しています。周波数帯域は最高 1.5GHz で、12ビット ADC によりクラス最高の垂直軸分解能を実現しています。このクラス初の FlexChannel®技術による 6 つの入力チャンネルを実現しており、ロジック・プローブを接続するだけで任意の入力チャンネルをアナログ 1 チャンネルからデジタル 8 チャンネルに変更することができます。

さまざまなアプリケーションに対応するため、4 シリーズ MSO は 200MHz 周波数帯域モデルから用意しています。また、シリアル・デコード／解析、任意波形／ファンクション・ジェネレータ(AFG)、DVM(デジタル・ボルト・メータ)／周波数カウンタなど、さまざまなオプションが用意されています。新しい Spectrum View 機能では、独立したスペクトラム設定により、時間相関のとれた周波数ドメイン解析が可能です。自動 AC ライン、スイッチング・デバイス、リップル／シーケンス測定などのパワー解析パッケージも用意されています。

周波数帯域とオプションはフィールド・アップグレードが可能です。すべての機種でアナログ・チャンネル、デジタル・チャンネルのサンプル・レートは 6.25GS/s です。標準のレコード長は 31.25M ポイント、オプションで 62.5M ポイントに拡張可能です。

3 シリーズ MDO: コンパクト、優れた汎用性

3 シリーズ MDO は、エンジニアのベンチに置けるよう、コンパクトで汎用性に優れたオシロスコープを目指しました。最新のインダストリアル・デザインを採用し、このクラス最大のフル HD 解像度、11.6 型ディスプレイを搭載しています。4 シリーズ、5 シリーズ、6 シリーズ MSO と同様、直感的なユーザ・インタフェースを採用し、同等のノブやボタンを装備しながら奥行はわずかに 14.9cm です。

3 シリーズ MDO は通常のおシロスコープとしてだけでなく、さまざまなデバッグ、検証作業をカバーします。単体のスペクトラム・アナライザと同様の独立した RF 入力と性能を備えた最高 3GHz のスペクトラム・アナライザを内蔵しています。これにより、別の計測器を追加することなく、設計段階で素早く無線コンポーネントのデバッグ、予期せぬ EMI エミッションの原因の特定が可能になります。ミックスド・シグナル解析には 16 のデジタル入力チャンネルの利用が可能です。オプションで、幅広い種類のシリアル・プロトコルのデバッグ／トリガ機能、パワー解析機能、AFG 機能も用意しており、非常に高いレベルの汎用性を提供します。DVM／周波数カウンタは、製品登録により無償で利用可能です。

新製品の 3 シリーズ MDO の周波数帯域は、100MHz から 1GHz まで用意されています。サンプル・レートは、すべてのアナログ・チャンネルで 2.5GS/s または 5GS/s、デジタル・チャンネルでは 8.25GS/s、タイミング分解能は 121.2ps です。標準のレコード長は 10M ポイントです。将来のニーズにも対応できるように、周波数帯域とオプションはすべてアップグレード可能です。

プローブ接続

オシロスコープと DUT(被測定デバイス)の接続は、複雑な回路の詳細に調べる上で特に重要です。3 シリーズ MDO、4 シリーズ MSO 共に TekVPI プローブ・インタフェースを採用しており、テクトロニクスすべての差動電圧プローブ、アクティブ電圧プローブ、電流プローブが使用できます。最新のパワーレール・プローブや光アイソレーション型差動プローブも使用できます。

製品価格(税抜)

3 シリーズ MDO ミックスド・ドメイン・オシロスコープ

100 MHz、2 アナログ・チャンネル	¥509,000
200 MHz、2 アナログ・チャンネル	¥608,000
350 MHz、2 アナログ・チャンネル	¥1,060,000
500 MHz、2 アナログ・チャンネル	¥1,350,000
1 GHz、2 アナログ・チャンネル	¥1,600,000

100 MHz、4アナログ・チャンネル	¥608,000
200 MHz、4アナログ・チャンネル	¥680,000
350 MHz、4アナログ・チャンネル	¥1,270,000
500 MHz、4アナログ・チャンネル	¥1,700,000
1 GHz、4アナログ・チャンネル	¥2,110,000

4シリーズ MSO ミックスド・シグナル・オシロスコープ

200 MHz、4チャンネル	¥997,000
350、4チャンネル	¥1,560,000
500 MHz、4チャンネル	¥2,050,000
1 GHz、4チャンネル	¥2,520,000
1.5 GHz、4チャンネル	¥3,170,000
200 MHz、6チャンネル	¥1,330,000
350 MHz、6チャンネル	¥1,880,000
500 MHz、6チャンネル	¥2,480,000
1 GHz、6チャンネル	¥3,060,000
1.5 GHz、6チャンネル	¥3,750,000

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト／計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年以上にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

<p>報道関係者からのお問い合わせ先 テクトロニクス 広報室 瀬戸 電話: 03(6714)3097 Fax:03(6714)3667 Email: seto.atsuko@tektronix.com</p>

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。